

静岡分苑だより

2022 春号



静岡分苑正面玄関（2022年3月16日撮影）

立替へを世人のことと思ふなよ

立替へするはおのが身魂ぞ

出口王仁三郎



静岡分苑このはなざくら 令和4年3月撮影

新年度 各部会より

後継者育成部

今年度、後継者育成部長を拝命いたしました小谷いずみです。今までこのような役を経験したことがないので、皆様のご指導いただきますようお願いいたします。

大本の後継者不足と言われてから、もう何年も過ぎていきます。コロナ過真っ最中の今年度、どのような活動ができるか悩みましたが、やはり青年部のサポートに力を入れていきたいと思っています。具体的には、青少年とその保護者に対する、本部行事への送り出しの交通費や宿泊費の補助を考えています。

コロナ禍の今、公共交通機関での本部送り出しに不安がある保護者もいると思います。自家用車での移動は、保護者のサポートあつての事ですので、青年部からの補助に加えて後継者育成部からの補助もあれば、自己負担を少なく本部行事にも参加しやすいかと思えます。

また、青年部と連携し、行事のサポートができればと考えています。

子供たちと一緒に楽しみたい方は、みんな後継者育成部です！ご協力よろしく願います。

（小谷いずみ 文）



【編集後記】

分苑も今年からは、成長 行動して行きたいと思います。聖師様のお示しのように自分自身の心の立て替え立て直しをし、少しずつ改心できますように。

令和4年4月3日

発行者 大本静岡分苑

〒421-3306

富士市中之郷小池下2353-1

谷田 新樹

～お知らせ～

東海教区直心会研修会

「出雲大神宮参拝」

※雨天 愛善発酵たい肥見学

日時 6月26日（日）

集合場所 亀岡大本本部ロビー

午後 正食について講話。

会費 3千円

（玉串、講師御礼含む）

昼食は本部にて直会

5月15日締切。 斎藤まで

090-7957-9013

宣伝部

3月に春の宣伝使
研修会を予定していま
したが、4月に変更しま
す。秋の研修会
は9月の予定です。



また、毎月月次祭後にはビデオ上映を
行っています。
どうぞよろしくお願
いします。

(駒形康信 文)

祭務部

祭務部では、次の2点を目標に活動し
たいと思います。

- ・清々しい祭典を行う
 - ・祭典の出来る人財育成を推進する
- 宜しくお願
いします。

青松会

青松会では、本
部行事へのオンライ
ン参加を積極的
に呼びかけしま
す。



(小谷徳生 文)

誠心会

今年「祈りと感謝」をテーマに活動
していきたいと思
っています。



活動等が決まりま
したら
またお知らせし
ていき
ます。

(浦上正夫 文)

直心会

令和4年の長生殿奉仕は、5月5日と
11月19日です。



11月の第1日曜日に開祖大祭があり
ますが、その際の茶席奉仕は東海教区が
担当になっています。
皆さまのご協力をお願
い致します。

(斎藤雅美 文)

青年部

感染状況を見つ
つ、
6月12日に青少
年部に
よる分苑月次祭
祭典ご奉仕、
7月31日に夏期
学級の開催を予
定して
います。また「
これがやりたい
!」とい
う声にも応えて
いきたいです。
青少年の
皆さん、ぜひ一
緒に活動して
いきましょ
う!
各分所支部やご
家族の方でも、
お声
かけ・行事送り
出しをお願い
いたします。



(谷田淳子 文)

たかね会

第二土曜日 静岡分苑
第四土曜日 安国分所



でお稽古を予定
しています(行
事等で変
更になる場
合があります)
。また個人的
にご希望ある
方は調整さ
せていただき
ます。状況が
落ち着きま
したら、若宮
先生・大野
先生に来苑
頂き、お稽
古をお願
いす
る
予
定
で
す。

(谷田阿井子 文)

このはなざくら 近況

「このはなざくら、植樹して1年、元気に
芽吹いて花も数輪咲きました。これから
根をしっかりと張って大きく育ててゆきま
しょう。

富士山とこのはなざくらを観ることが
出来る静岡分苑は、素晴らしい場所
です。

教主様から「野点茶会をしたいですね」
とお言葉をいただきました。是非開催
したいと思
います。皆
様も家
族お揃
いで
お越
しい
ただ
けま
すよ
うに
夢が
膨ら
ん
で
い
ま
す。

(谷田新樹 文)



道の友垣



Saluton!

こんにちは

秋田昭子さん
(あきた あきこさん)
駿東郡小山町在住
富士分所所属
直心会会計



今年から分苑の直心会
計をさせていただく事
になりました、富士分
所の秋田昭子
です。
皆様に教えていただき
ながら務めさせていた
だきま
す。よろしくお願
いいた
しま
す。
昨年の3月から直心
会連
合会長の齋藤雅美さん
のお
宅で月に1〜2回「お
茶の
お稽古」が始まりまし
た。
今回は流し点という薄
茶の
応用編のような、お客
様に
対座しお話し出来る
お点
前です。
四季折々に合わせた
お点
前に毎回感動してい
ます。